



令和8年度事業計画



I はじめに

会員の高齢化やインボイス制度の進展など、外部環境の変化は今後も財団経営に大きな影響を及ぼすことが想定されます。特に、2030年度のインボイス制度完全実施(軽減税率の解消)に向けては、会員・事業者双方が円滑に移行できる体制を整備し、2030年度からの3年間(2030~2032)に確実に事業継続が可能となる基盤づくりを進めることが、引き続き組織の最重要課題です。

令和8年度は、基本計画(2024~2026)の最終年度にあたり、これまで取り組んできた施策の成果を確実に積み上げるとともに、次期計画につながる基礎を固める重要な年度です。計画に掲げる4つの「今後の方向性」を基本方針として、事業の持続性と社会的役割の強化を図ります。

生涯現役社会の実現を目指す公益法人として、横浜市の政策推進と地域課題の解決に邁進し、活力ある豊かな街づくりに貢献します。具体的な注力分野として、「DX社会の実現」に向け、会員のデジタル活用支援や中小企業におけるシニア層のIT化を強力に推進します。あわせて、喫緊の課題である「子育て支援」についても、保育補助や小学校での朝の居場所づくりなど、地域の実情に即した取り組みを拡充し、多世代が支え合う社会の構築に寄与してまいります。

これらの取組を着実に進めるため、日々の行動につながる具体的な活動指標を設定し、成果の可視化と改善を重ねながら、持続可能な組織運営を目指します。

既存事業の盤石化

一定程度の体力や運動能力を必要とする現行の主要事業(清掃、植木除草、家事サービス等)の担い手不足の解消と事業の効率化

DX化支援の取組み

会員を中心とする高齢者のデジタルデバイドの解消や中小企業等のDX化支援事業の新たな展開及び組織内部の一層のDX化

あるべき姿

安定的・継続的な事業継続を前提に、70歳以上の高齢者を中心に安全・安心で柔軟な働き方を提供する唯一の公益財団としての役割を果たすとともに、様々な社会課題の解決にも取り組む組織

多種多様な新規事業開拓及びワークシェアリングの推進

柔軟で多様な働き方を希望する高齢者に向けた事務系職種などの多種多様な新規事業の開拓及び一層のワークシェアリングを推進

収支均衡の維持と組織体制の強化

インボイス制度の影響を踏まえた組織継続のための長期的な収支均衡維持と組織体制の強化

基本計画(2024-2026)より抜粋

Ⅱ 基本方針



1.基本方針

事業運営

- (1)既存事業の盤石化
- (2)多種多様な職種の新規事業開拓
及びワークシェアリングの推進
- (3)安心・安全対策・会員の安全就業・健康管理
- (4)会員登録者数及び受注拡大による就業実人員の増
- (5)シルバー人材センターの認知度の向上

経営基盤

- (1)収支均衡(収益増)
- (2)収支均衡(支出減)

組織体制

- (1)適材適所の人員配置
- (2)人材育成の充実
- (3)課題解決に向けた組織再編
- (4)評議員会・理事会の開催

2.令和8年度主要事業目標値 ()内は令和6年度・7年度(令和8年2月末時点予測)実績値

就業実人員 :8,000人 (R6:5,646人 R7:約5,400人)

会員登録者数 :13,000人 (R6:11,045人 R7:約10,600人)

契約金額※ :3,200,000千円(税込) (R6: 3,409,332千円 R7:約3,325,000千円)

※「就業実人員」と「契約金額」の数値は、
受託事業と派遣事業の合計数値

3.基本計画(2024-2026)主要事業目標値

就業実人員 :19,000人以上(期間合計)

会員登録者数 :13,000人以上(最終年度末)

契約金額※ :9,900,000千円(税込)(期間合計)

※「就業実人員」と「契約金額」の数値は、
受託事業と派遣事業の合計数値

Ⅲ 具体的取組（事業運営）



1. 既存事業の盤石化

前年度事業計画からの変更・追加箇所

計画項目	具体的取組	活動指標
(1) 植木・除草業務会員サポートの充実	①植木研修(初級・レベルアップ・中級)の実施 ②植木除草補助業務枠の体制構築 ③植木班・除草班の会員間コミュニケーション促進	就業実人員:1050人以上
(2) 未就業者向け業務導入サポートの充実	未就業者向け講習会の実施 (例)マンション管理会社連携清掃講習会 神奈川県シルバー人材センター連合会技能各種講習会との連携	年2回実施
(3) 会員不足エリア等への集中対策強化	就業案内に基づく新規会員募集(募集チラシ配布等)	年2回実施

2. 多種多様な職種の新規事業開拓及びワークシェアリングの推進

計画項目	具体的取組	活動指標
(1) IT系事業の拡大及びIT系会員の充実	①会員のITスキルを活かした新規開拓 ②会員のITスキル情報の登録・管理と就業紹介の一体的運用	80人以上 (IT系会員) (R8末100人以上)
(2) 横浜市各種政策の推進寄与	①子育て支援事業(保育園環境整備事業・小学生の朝の居場所づくりモデル事業等) ②2027年国際園芸博覧会③自治会・町内会、商店街支援 ④DX化支援(行政・法人・個人)⑤脱炭素化推進 等	—
(3) 高齢者へのデジタル化ツール対応支援	①シニア向けスマートフォン講座の実施 ②会員向けスマートフォン及び会員専用サイト「Smile to Smile」導入支援の実施	①年4回以上開催 ②年8回以上実施
(4) 新規事業開拓アプローチ(訪問・電話)	①新規開拓専門職員等による企業、公共機関等への営業の実施 ②既存顧客へのケア・フォロー(課題のヒアリング等)による契約継続及び追加受注の推進 ③顧客アンケートの実施	①年300件以上(本部) 年800件以上(全事務所) ②年1,200件以上 (全事務所)
(5) ワークシェアリングの徹底	①未就業会員を中心に就業案内の励行によるワークシェアリング推進 ②体力に左右されない幅広い年代が活躍できる就業機会の創出	年15,000人以上紹介

Ⅲ 具体的取組（事業運営）



3.安心・安全対策・会員の安全就業・健康管理

前年度事業計画からの変更・追加箇所

計画項目	具体的取組	活動指標
(1)フリーランス新法への適正化	就業先への現場確認による事故予防及び環境改善の実施	年1,200件以上 (全事務所)
(2)安全就業の徹底 基本計画重点目標 事故率0.45%	<ul style="list-style-type: none"> ①各事務所に本部安全管理委員と支部安全管理委員を配置・委員会の定期開催 ②安全管理委員会による就業現場チェック体制の強化 ③業種別危険予知訓練(KYT)の実施 ④事故率の高い業務に対する新規研修の検討 ⑤植木除草業務の複数会員による就業の励行 ⑥植木業務安全啓発研修(年1回) ⑦電動工具安全啓発研修(個別参加) ⑧刈払機安全啓発研修(個別参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ①年2回以上開催(本部) 年40回以上開催(全事務所) ⑥年1回以上開催
(4)会員への健康活動の実施	健康管理の啓発(健康診断の受診奨励、シルバーストレッチの普及啓発等)	—
(5)シルバー保険への加入	シルバー保険への加入	継続
(6)適正就業の推進	受注内容の検証(適正就業月間)	—
(7)会員への安全啓発情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ①事故事例と再発防止情報発信 ②改正道路交通法の施行に伴う自転車運転の安全啓発 ③熱中症対策情報発信 ④高齢者の特殊詐欺等被害防止に向けた啓発 	—

Ⅲ 具体的取組（事業運営）



4. 会員登録者数及び受注拡大による就業実人員の増

前年度事業計画からの変更・追加箇所

計画項目	具体的取組	活動指標
(1)切れ目のない就業勧奨	①会員専用サイト「Smile to Smileへ」の仕事情報掲載数の充実、利用会員の増加 ②特技や資格を活かした就業希望会員の募集及びスキル情報の収集	①年400件以上掲載 ②年100件以上常時掲載
(2)入会メリットの充実(会員特典等)	①会員向けスマートフォン講習会の実施(再掲) (Smile to Smile導入支援及び就業相談会を併せて実施) ②会員の趣味(サークル)やボランティア活動を通じた仲間づくりの支援 ③現行ポイント制度の活用等による退会抑制の検討 ④女性会員登録拡大に向けた検討 ⑤会員アンケートの実施	①年24回以上実施
(3)初回登録料の免除	初回登録料の免除	2,200人以上 (新規登録)
(4)ハローワークとの連携強化	①求職者向けセミナー及び相談会の開催、会員募集チラシ配架 ②求人者向け人材確保に向けた協働	①年30回以上実施
(5)会員の専門知識・スキルや経験の情報提供	「シルバースキルシート」のホームページ上の公開	年100件以上常時掲載
(6)改正高年齢者雇用安定法を踏まえた企業への働きかけ	企業・団体等に対する退職予定者向け説明会開催	年1回以上開催
(7)地域課題の解決に資する就業機会の創出	①ひとり親世帯への学習支援等 ②Y-SDGsを通じた企業等との連携による事業創出	—

Ⅲ 具体的取組（事業運営）



5.シルバー人材センターの認知度の向上

前年度事業計画からの変更・追加箇所

計画項目	具体的取組	活動指標
(1)広報戦略・計画の策定及び実施	Web広告(リスティング広告等)による事業PRの実施	年12回 以上実施
(2)地域誌の広報充実	社会福祉協議会誌、その他ミニコミ誌等を活用した事業PR	年2回 以上掲載
(3)関連機関との連携	地域イベントへの参加 (シニアの祭典、ハーモニーみどりふれあいまつり、うらしま祭等)	年1回 以上参加
(4)中小企業支援組織及び金融機関等との連携	①中小企業支援組織及び金融機関等との協定連携強化 ②企業人事担当者向けセミナーの実施 ③合同仕事相談会の実施 ④会員スキル情報共有システムの運用	②年2回 ③年2回
(5)リブランディングに向けた取り組み	①愛称「キャリアーズ横浜」の積極的周知 ②ジェロントロジー(老年学)をベースとしたライフデザイン支援の検討 ③就業を通じたフレイル予防の認知向上の発信	—

IV 具体的取組（経営基盤）



1. 中期的収支均衡（収益増）

前年度事業計画からの変更・追加箇所

計画項目	具体的取組	活動指標
(1) 会員のスキルを活かした市民向け有料講座の実施	①出張シニア向けスマートフォン講座 ②出張趣味講座の実施(例:コーヒーの淹れ方教室、色鉛筆画教室) ③各事務所開催の独自事業(例:パソコン教室、英会話教室)	年500万円以上 (収益金額)
(2) 成約率及び成約件数の基準遵守	未就業会員を中心に積極的な仕事紹介による成約率及び成約件数の向上	平均70%以上 (成約率) 年1,000件以上 (成約件数)

2. 中期的収支均衡（支出減）

計画項目	具体的取組	活動指標
(1) 業務のDX化	①組織運営事務のDX化による経費削減 ②WEB入会登録の推進 ③WEB受注の利用促進 ④会員向け「Smile to Smile説明会」実施による利用者の増加 ⑤業務システム運用の効率化検討 ⑥請求事務等の事務負担削減に向けたRPA, OCR※の活用検討	①年600万円(経費削減) ②年900人以上(新規登録) ③年1,300件受付 ④年5万回(ログイン数)

※RPA(Robotic Process Automation): PC上の定型業務をソフトウェアロボットに記憶させ、マウスやキーボード操作を自動化する技術

※ OCR(optical character recognition): スキャナやカメラで読み取った紙の書類、画像、手書き文字を、コンピュータが編集・検索可能なテキストデータに変換する技術

V 具体的取組（組織体制）



1. 適材適所の人員配置

前年度事業計画からの変更・追加箇所

計画項目	具体的取組	活動指標
(1) 就業実人員等に応じた人員配置	職員1人あたりの適正な就業実人員(継続担当会員数)に応じた人員配置	200人以上 (職員1人あたり継続 担当会員数)
(2) 効率的な組織運営の検討	植木除草業務の集約化の検討	—

2. 人材育成の充実

計画項目	具体的取組	活動指標
(1) 固有職員複数体制の整備	各事務所の固有職員(所長を除く)複数体制の維持	—
(2) 人材育成制度の充実	職員育成ビジョンや職員アンケートに基づき、職務上必要とされる知識や技能の習得を目的とした研修の実施	年5回実施

V 具体的取組（組織体制）



3.働きやすい環境整備

前年度事業計画からの変更・追加箇所

計画内容	具体的取組	活動指標
(1)健康経営の取組	①横浜健康経営認証AAAの維持 ②医師による各職員との健康相談の実施	②年1回以上実施
(2)働きやすい環境づくり	職員を対象した調査結果を基にしたより働きやすい職場環境の改善	職員の満足度80%以上
(3)ハラスメント対策の取組	①カスタマーハラスメント対策基本方針及び対策マニュアルの定期的な職員周知 ②ハラスメント知識向上に向けた職員研修の実施	②受講率100%

4.評議員会・理事会の開催

計画項目	具体的取組	活動指標
(1)評議員会の開催	評議員会 6月下旬(令和7年度事業報告・決算 等) 3月下旬(令和8年度補正予算、令和9年度事業計画・予算、 新たな基本計画策定 等)	—
(2)理事会の開催	理事会 6月中旬(令和7年度事業報告・決算 等) 11月中旬(令和8年度上半期事業報告、新たな基本計画検討 等) 3月中旬(令和8年度補正予算、令和9年度事業計画・予算 等)	—